



—— 千葉市議会議員 (中央区選出) ——

三井みわこ 議会報告

NO.2

未来の福祉をこの街に!

代表質疑

*9月14日に会派を代表して幹事長が代表質疑を行いました。

民主党千葉市議会議員団

『代表質疑の通告内容』

① 市政運営の基本姿勢について

- (1) 東日本大震災及び国家財政再建に立ち向かい、地域主権の確立を目指す国政の動向への認識と見解について
- (2) 東日本大震災の復旧・復興対策と震災の教訓及び今後の防災対策について
- (3) 市長マニフェストに関する事業の取り組みについて

② 総務行政について

- (1) 国際交流推進事業について
- (2) 変革の時代に対応した職員の育成について
- (3) 情報化推進について

③ 総合政策行政について

- (1) 行政改革について
- (2) 市民参加、協働、市民公益活動について

④ 財政について

- (1) 財政再建に向けた22年度決算の認識について
- (2) 土地開発公社の解散と公社保有地について

⑤ 市民行政について

- (1) 区行政の充実とまちづくりについて、22年度各区事業の取り組みをどのように評価しているかまた今後のさらなる充実、区役所機能強化に向けての基本的考え方について
- (2) 地域安全対策について

⑥ 保健福祉行政について

- (1) 生活保護について
- (2) 国民健康保険財政について
- (3) 高齢者対策について

⑦ こども未来行政について

- (1) 保育所(園)待機児童対策について
- (2) 子ども手当について

⑧ 環境行政について

- (1) 喫煙による健康被害等について
- (2) 地球温暖化防止対策について
- (3) ごみ減量・再資源化対策について

⑨ 経済農政について

- (1) 労働対策について
- (2) 地域産業支援について

⑩ 都市行政について

- (1) 民間戸建て住宅の耐震対策について
- (2) 公社一括借り上げ特定優良賃貸住宅について
- (3) 緑と水辺の基本計画について

⑪ 建設行政について

- (1) 自転車走行環境整備について
- (2) 上下水道料金の徴収一元化について

⑫ 消防行政について

- (1) 消防団活動体制の整備について
- (2) 消防庁舎の耐震対策について

⑬ 病院行政について

- (1) 地方公営企業法全部適用移行後の取り組みについて

⑭ 教育行政について

- (1) 東日本大震災による学校への影響について
- (2) 学校施設の耐震化について
- (3) 学校教育推進計画について

市政へのご意見を
お聞かせ下さい!

発行: 三井美和香
千葉市中央区登戸1-11-13-203
TEL: 043-216-5432 FAX: 043-216-5433

E-mail: mm@mitsui-miwako.com
Twitter: twitter.com/mitsui-miwako

三井みわこで 検索

URL: <http://www.mitsui-miwako.com/>

*放射性物質の検査結果のお詫び。 先の議会報告において、放射性物質の検査結果について

1、市内を県内と読み取れる表現をしてしまいました。2、(ほぼ自然放射線の範囲)があいまいであったことを訂正してお詫び申し上げます。



議会報告

第3回定例会が終了しました。
(9月6日～10月4日)

《平成23年第3回定例会結果報告》

平成23年第3回定例会は、9月6日に招集され、10月4日に閉会しました。本定例会に市長から提案された議案件数は、全40件(補正予算2件、条例議案3件、一般議案5件、決算認定19件、人事議案11件)、議員からの発議5件(条例1件・意見書4件)、また市民の請願2件、陳情7件が審議されました。

その結果、市長提出の全ての議案については、全会一致もしくは賛成多数で可決されました。議員発議は、条例1件が否決、意見書4件が全会一致もしくは賛成多数で可決した他、請願は1件が採択送付、陳情は3件が採択送付となりました。

平成22年度決算認定について

例年9月の定例議会は、決算の認定のため、全議員で構成する特別委員会を設置し、さらに当該委員会を分科会に分けて審議しております。今回、定例会最終日に民主党会派を代表して、平成22年度の決算議案について認定の立場から賛成討論を行いました。

平成22年度決算は、アメリカ発の金融危機を発端とした世界的な景気後退を受け、税収が大幅な減収となり、極めて厳しい状況にありました。また、千葉市の財政健全化判断比率は、政令市の中でワースト1と依然危機的な状況ではありますが、特に今回厳しい状況にある理由は、



これまで当局の財政健全化への取り組みが遅れていたことにより、構造的かつ慢性的な収支不足に陥っていたことが挙げられます。

そのため、市長は「脱・財政危機」宣言を発し、職員の給与カット、政令市初の退職金カットを行い、聖域を設けない大胆な見直しを進めてきました。

その結果、財政健全化判断比率の一つであります将来負担比率は、建設事業債等の発行を抑制したことや、債務負担行為支出予定額が減少したことで、前年度に比べ21.1ポイント減の285.3%となりました。これは熊谷市長が財政健全化プランの項目や公営企業会計における経営健全化計画等を着実に推進した結果の表れであり、評価できるものと考えています。しかし、今後しばらくは厳しい財政運営が続くことになり変わらないことから、市民サービスの抑制・低下をまねくことのないよう留意しつつ、より一層の財政健全化への取り組みが求められます。



センターが必要

急に寒くなってきましたが、皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。
さて、市議会議員として半年経ちましたが、日々市民の皆様からの様々なご意見・ご要望に対応させて頂いております。特に最近では、在宅で介護を介するサービス利用や施設入所に関するご意見・ご要望が多くなっています。介護保険制度が創設されて十年以上経過しましたが、制度の仕組みもなかなか複雑で分かりづらいつつも、いざ利に相対したらいかに戸惑うようです。このようにご家族や近隣に暮らす方の介護に関する悩みや問題、健康福祉、医療や生活に関することなどの総合相談窓口として、介護保険制度には「地域包括ケアセンター」があります。地域で支え合う体制づくりには、その中核となる「地域包括ケアセンター」(千葉市では、あんしんケアセンター)と呼んでいます。その役割は重要ですが、他の政令指定市に比較して設置数が少ないことが、現在、千葉市では大きな課題です。(千葉市では「あんしんケアセンター」十二ヶ所、各区二ヶ所づつしか設置されていません。)

今回の議会で、高齢者対策や「あんしんケアセンター」について、会派の代表質問でも取り上げられましたが、安は、六十五歳以上の高齢者の設置の目安は、六十五歳以上の高齢者三千人、六千人に一ヶ所、とされており、千葉市の人口からすれば六千人に一ヶ所としてセンターが必要

平成二十三年第三回定例会を終えて

千葉市中央区のあんしんケアセンターの一覧

お住まいの地域ごとに担当のあんしんケアセンターが設置されています。

[業務時間] 月～土曜日9:00～17:00 (日曜日、祝日、年末年始を除く)

うらら

〒260-0844 中央区千葉寺町188
電話:043-208-1222 FAX:043-261-3209

青葉町、旭町、市場町、稲荷町、亥鼻、院内、春日、葛城、要町、亀井町、亀岡町、栄町、寒川町、汐見丘町、新宿、新千葉、新田町、新町、神明町、未広、千葉寺町、千葉港、中央、中央港、椿森、鶴沢町、出洲港、道場北、道場南、問屋町、長洲、登戸、東千葉、東本町、富士見、弁天、本千葉町、本町、松波、港町、都町、矢作町、祐光

ローゼンヴィラはま野

〒260-0814 中央区南生実町461-2
電話:043-305-0102 FAX:043-305-0108

赤井町、今井、今井町、鶴の森町、大森町、生実町、川崎町、川戸町、塩田町、蘇我、蘇我町、大蔵寺町、新浜町、仁戸名町、花輪町、浜野町、星久喜町、白旗、松ヶ丘町、南生実町、南町、宮崎、宮崎町、村田町、若草

となり、現状の各区二ヶ所では、十分な機能が果たせないことは明らかであり、今後「あんしんケアセンター」の増設が望まれます。

この点に関して、私は六月議会の一般質問の中でも、千葉市への意見・要望として述べさせて頂いたいただきました。具体的には、現在の「千葉市あんしんケアセンター」の機能強化と増設、また「あんしんケアセンター」の設置場所に関しても、住民が気軽に相談にのまれる場所、例えば、交通の利便性の良い商店街や駅前などに設置する必要があること、さらには、現在の委託型に加え、千葉市直営の基幹型「あんしんケアセンター」を設置するよう要望させて頂いております。

私は「現場の声を市政へ」をモットーに、福祉一番の街づくりを目指して、頑張っており、皆様のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。